

～1歳未満の赤ちゃんがいるご家庭へ～
乳児ボツリヌス症から赤ちゃんを守りましょう

ハチミツや黒糖を摂取することで、
乳児ボツリヌス症を発症する可能性があります。



○乳児ボツリヌス症とは？

腸内環境の未熟な1歳未満の赤ちゃんがボツリヌス菌（芽胞）を含む食品を摂取することで発症します。便秘が数日間続き、全身の筋力低下、脱力状態、哺乳力の低下、泣き声が小さくなる等の症状が現れることがあります。

ほとんどの場合、適切な治療により治癒しますが、まれに亡くなることもあります。

○ボツリヌス菌（芽胞）って何？

土壌や湖沼の泥中に広く存在する菌です。身近な食品では『ハチミツ』や『黒糖』に含まれている可能性があります。ハチミツは土壌に生えている植物の花粉をミツバチが採取しているので、混入している可能性が非常に高い食品になります。また、未精製である黒糖も混入している可能性が高い食品です。

○菌だから加熱すれば安全？

ボツリヌス菌は芽胞というとても硬い殻のようなもので守られています。この殻は、家庭での加熱や調理では死滅しません。

○ハチミツや黒糖だけ気をつければ大丈夫？

ハチミツや黒糖を使用しているお菓子やパン、ジュースなどの『加工食品』にも、気をつける必要があります。洗浄や皮剥きが不十分な野菜を使った、ジュースも気をつけましょう。

ハチミツや黒糖は栄養価の高い食品ですが、1歳を過ぎてから美味しくいただきます♪

普段から食品の原材料表示にも、
注意を払いましょう♪



館林市健康推進課（保健センター内）
TEL 0276-74-5155